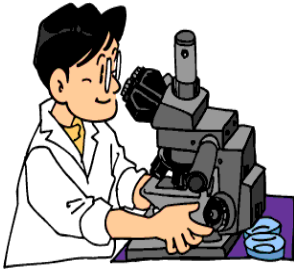


## ～病理検査ってなんだろう？～



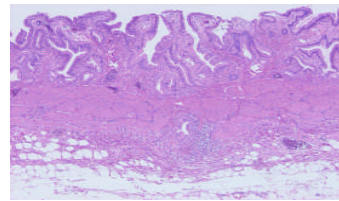
病理検査とは、患者さんから手術や内視鏡検査等で検出された臓器や痰、尿の中などの細胞を調べ、病気の診断や原因を究明するために行なう検査です。検出された組織や細胞の標本は、臨床検査技師（細胞検査士）が作製し、その標本を観察し病気を診断するのが病理医です。病理検査は、大きく分けて以下の組織学的検査、細胞診検査、病理解剖の3分野に分かれます。

### 組織学的検査

病気の部分の組織を採取し、スライドガラス標本を作製します。このスライドガラスを病理医が、病気によって変化した組織等を顕微鏡で観察し、診断します。

また、病気の種類、進行状況等や良性又は悪性等の診断も行なっています。

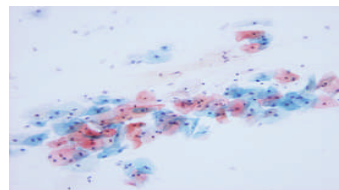
この診断によって次の治療方針が決まる等、非常に重要な検査です。



### 細胞診検査

病気の部分の細胞を採取し、スライドガラス標本を作製します。このスライドガラスを臨床検査技師（細胞検査士）と病理医が顕微鏡で観察し、どんな細胞で構成されているか等を診断します。

主に、がん細胞の検出を目的に行なっている検査で、肺がん、子宮がん、乳がん等の早期発見に役立っています。



### 病理解剖

病気で亡くなられた患者さんに関して、ご遺族の承諾を戴き、病気の原因究明や治療効果等を目的とした病理解剖を行なっています。

病理解剖は、今後の病気の診断や治療に役立てていきます。



♪ お問い合わせ先 検査科 病理検査室 ♪

♪ ご希望の方には『多摩南ミ二通信』を面会受付でお渡ししております。 ♪